

令和元年度 就学前人権教育研究協議会C（実践発表） 実施要項  
 ー子どもを中心にした、人権尊重の就学前教育をめざしてー

- 1 目的 人権教育の観点に立った幼稚園・こども園・保育所等の子どもを中心にした取組みの実践発表、協議等を通じて、その在り方と指導スキルの向上についての研修を実施する。
- 2 対象者 幼稚園・府立支援学校幼稚部・保育所・認定こども園・認可外保育施設の所属長及び教員・保育士

募集人数 450名

3 研修内容等

回	日時	研修内容〔実践発表・研究協議〕	講師等
1	1月27日（月） 14:00～17:00	<b>【第1分科会：障がい理解】</b> 保育者の悩みと苦労 ー保護者と共に歩む支援の糸口を探るー	発表：認定こども園聖光幼稚園 園長 林 和代  助言：認定こども園聖光幼稚園 園内アドバイザー 尹 峰 花（ゆん ぽんふぁ）
		<b>【第2分科会：保幼小連携】</b> 思いを言葉にして ーいつでも見ているよー	発表：泉南市立なるにつこ認定こども園 保育教諭 小丸 信枝 保育教諭 原田 愛美  助言：大阪総合保育大学 講師 三輪 よし子
		<b>【第3分科会：子育て支援】</b> 「ひと、それぞれやな！」 ー多様性を知り、認め合う仲間づくりー	発表：泉南市立くすのき幼稚園 教諭 妹尾 咲希 教諭 藤本 香緒利  助言：吹田市立岸部第一小学校 教諭 中川 晴代

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m  
 JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m  
 近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 担当室 人権教育研究室

- 6 その他 (1) 受付は30分前から  
 (2) 印鑑を持参すること  
 (3) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること  
 (4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと

個別募集

## 令和元年度 研修のシラバス

1. 研修名	就学前人権教育研究協議会 C（実践発表） —子どもを中心にした、人権尊重の就学前教育をめざして— (研修番号 5050)
2. 目的	人権教育の観点に立った幼稚園・こども園・保育所等の子どもを中心にした取組みの実践発表、協議等を通じて、その在り方と指導スキルの向上についての研修を実施する。

### 3. 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容
1	第1分科会 障がい理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権が尊重された就学前教育の在り方について理解する。</li> <li>・ 人権教育の推進体制や地域・保護者・関係機関等との連携の在り方について、認識を深める。</li> </ul>	<p>幼稚園や保育所は、子どもたちにとって初めての集団生活となります。家庭同様、困った時には先生に助けてもらい、大事に見守られているのだという実感を心に刻むことが大切です。特に個別の支援対象児には、最初の集団生活が居心地の良いものになる必要があります。そのためには保護者との連携が重要です。本分科会では園と保護者が共通認識を持ち、子どもたちの育ちを支えていく糸口を探っていきます。</p>
	第2分科会 保幼小連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権教育の効果的な指導方法等について認識を深め、人権教育の取組みについての展望を持つ。</li> </ul>	<p>校種間連携の内容と、5歳児仲間づくりの取組みを報告します。自分の思いを言葉で表現することが難しい子どもをクラス集団に位置づけ、思いを言葉にして伝えること、感情はさまざまであっていいことを常に大切にし、安心の場をつくっていきました。小学校入学を見通し校区を意識したグループ活動や発表会に向けての取組みなどで、お互いのよさを認め合うことから集団での心地よさを感じ、子どもたちが思いを伝えられるようになった1年間の取組みをもとに学びを深めます。</p>
	第3分科会 子育て支援		<p>日本で暮らす外国にルーツのある保護者は生きづらさを抱えています。そんな保護者の不安や子どもへの願いに、ていねいに寄り添いながら信頼関係を築き、すべての子どもたちが互いの違いを豊かさとして受け止めることができるようにと取り組んだ2年間の実践発表から、子育て支援の在り方について学びを深めます。</p>